

発表日 令和6年（2024年）12月17日

電子伝導性コンクリートパネルによる融雪実証試験に取り組みます

札幌市は、下記1のとおり會澤高圧コンクリート株式会社及びマサチューセッツ工科大学との共催で、電子伝導性コンクリートパネルによる融雪実証試験に取り組みます。これに伴い、下記2のとおり記者会見が開催されますので、報道機関の皆様におかれましては、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1 融雪実証試験の概要

(1) 実証場所

大通公園西3丁目の一部（南側）

（2024さっぽろホワイトイルミネーション及び2025さっぽろ雪まつり会場内）

(2) 実証期間

- ・ 令和6年12月18日（水）から令和6年12月25日（水）※¹
- ・ 令和7年2月4日（火）から令和7年2月11日（火・祝）※²

※¹ 2024さっぽろホワイトイルミネーション期間中

※² 2025さっぽろ雪まつり期間中

(3) 実証の目的・内容

融雪実証用に電子伝導性コンクリートパネルを敷設し、3種類の電圧を用いて発熱させることで、3通りの条件下における融雪性能と使用電力量の比較を行います。これにより、効率的な融雪方法とそのコストを検証します。



【融雪実証試験パース図】

2 融雪実証試験の開始に係る記者会見の概要

(1) 会場

TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通 カンファレンスルーム 7B
（札幌市中央区南1条西1-8-2 高桑ビル）

(2) 開催日時

令和6年12月19日（木）10時00分～11時00分

(3) 次第（予定）

- ・ 開会挨拶
- ・ 電子伝導性コンクリートパネルに関する説明
- ・ 質疑応答

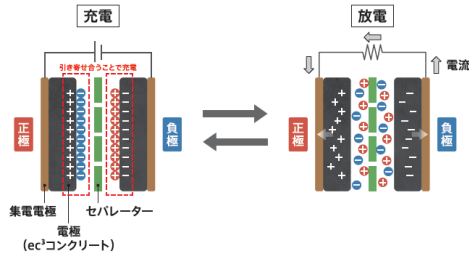
(4) 参加方法（報道機関のみ対象）

事前に下記のサイトから参加登録をしてから会場にお越しください。

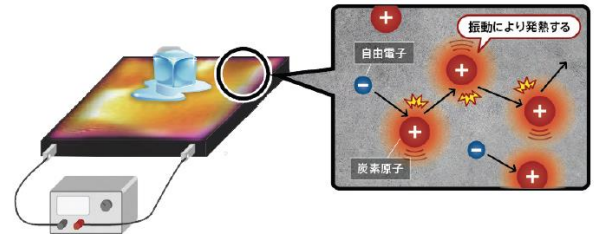
参加登録 ⇒ <https://forms.gle/Xb6q2XugXAtmlyUb9>

3 電子伝導性コンクリートパネルについて

會澤高圧コンクリート株式会社及びマサチューセッツ工科大学が構成するコンソーシアムにおいて研究・開発を進めている蓄電・発熱するコンクリートのこと。カーボンブラックと呼ばれる炭素の微粒子をコンクリートに添加することで、電気をコンクリート内部に蓄える機能を持たせたり、電気を蓄電コンクリートに流してコンクリート自体を発熱させたりすることが可能です。



【蓄電の仕組み】



【発熱イメージ】

発熱機能は、主にロードヒーティングとしての活用が想定され、将来的には、蓄電コンクリート技術のもう一つの応用方法である蓄電機能と、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーを組み合わせることで、ロードヒーティング利用に伴うエネルギー効率の向上と環境負荷の低減が見込まれます。

詳しくはこちら ⇒ <https://www.chikudenconcrete.com/>

4 その他

本件は、會澤高圧コンクリート株式会社からも同日時でプレスリリースされています。

5 問い合わせ先

■札幌市からのプレスリリースに関すること

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所 12階
札幌市環境局環境都市推進部環境政策課 飯岡、林
TEL: 011-211-2877 MAIL: kan.suishin@city.sapporo.jp

■電子伝導性コンクリートパネル（実証試験の実施を含む）に関すること

〒065-0043 札幌市東区苗穂町12-1-1
會澤高圧コンクリート株式会社 取締役副社長 青木
TEL: 011-723-6601 MAIL: r.aoki@aizawa-group.co.jp

■記者会見に関すること

〒065-0043 札幌市東区苗穂町12-1-1
會澤高圧コンクリート株式会社 デジタル経営本部 次長 碓氷
TEL: 011-723-6600 MAIL: t.usui@aizawa-group.co.jp